

「きのくに県民カレッジ」・「出張まなび講座」ウェブサイト制作及び講座検索システム構築業務 公募型プロポーザル実施要領に係る質問事項の回答

番号	実施要領または仕様書	質問内容	回答
1	実施要領	仕様書5(1)(ア)ではドメインを県が準備するとされる一方、実施要領8(3)エ(ウ)では見積内訳に「ドメイン取得」が示されています。取得・更新費用は県負担とし、受託者はDNS、SSL等の設定作業費を見積に含めるとの理解でよろしいでしょうか。異なる場合は、受託者の負担範囲をご教示ください。	ご認識のとおりです。
2	実施要領	翌年度保守管理参考見積には、サーバー、WAF、バックアップ及びSSL証明書等のインフラ利用料を含めるとの理解でよろしいでしょうか。他に必ず含める保守管理項目がある場合は、ご教示ください。	ご認識のとおりです。なお、その他の保守管理項目については、提案内容に応じて必要な費用を計上してください。
3	実施要領	企画提案書に掲載した試作サイトを、持参するパソコン上でローカル動作させ、プレゼンテーション中に操作することは可能でしょうか。可能な場合、企画提案書類提出時の申出方法をご教示ください。	可能です。実施要領に記載のとおり、企画提案書類の提出時にその旨を申し出てください。申出の様式は任意とします。
4	仕様書	別記1第5のセキュリティ診断は、外部の専門事業者によるWebアプリケーションの自動脆弱性診断と結果報告書の提出で要件を満たしますでしょうか。手動診断又はサーバー、ネットワーク等を含む診断が必要な場合は、必要な範囲をご教示ください。	別記1第5に規定するセキュリティ診断については、外部の者による診断を受けることを要件としています。診断手法及び診断対象範囲については特に指定ませんが、本業務において構築するウェブサイト及び講座検索システムについて、利用しているソフトウェア及び設定等に脆弱性がないことを確認できる内容としてください。なお、実施する診断については、IPAの情報セキュリティサービス基準適合サービスリストに登録されたサービスの活用が望ましいと考えています。
5	仕様書	「2つの事業のウェブサイトを1つのサイトに再構築する」とあるとおり、作成するのは1つのサイトでよいのか。その場合、サイトのタイトルはどうなるか。	ご認識のとおりです。なお、サイト名称については現時点では未定であり、本業務の実施過程において委託者と受託者で協議の上決定する予定です。
6	仕様書	2業務目的 (1) ウェブサイト制作 (イ) 制作の要件 ①きのくに県民カレッジ 「当サイトの配下のページを全て次期サイトに統合すること。」とあるが、該当するのは https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/bunjiyo/college/post.html https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/bunjiyo/college/post-3.html の2ページでよいのか。	現時点において移行対象として想定しているページは、 https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/bunjiyo/college/post.html 及び https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/bunjiyo/college/post-3.html の2ページです。なお、これらのページから参照しているPDF等の掲載資料についても、必要に応じて次期サイトへ移行するものとします。
7	仕様書	5業務内容 (1) ウェブサイト制作 (イ) 制作の要件 ②「出張まなび講座」サイト 「当サイトの配下のページを全て次期サイトに統合すること。」とあるが、該当するのは https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/500600/kikaku/syougaisya.html の1ページでよいのか。	現時点において移行対象として想定しているページは、 https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/500600/kikaku/syougaisya.html です。なお、当該ページ内で掲載又は参照している画像、PDF等の資料についても、必要に応じて次期サイトへ移行するものとします。
8	仕様書	5業務内容 (2) 講座検索システム等の構築 「きのくに県民カレッジ」「出張まなび講座」それぞれ別の検索システムを作成するのか。 1つの検索システムで上記2つを検索できるようにするのか。	「きのくに県民カレッジ」及び「出張まなび講座」は事業の性質が異なることから、それぞれの事業ごとに講座情報を検索できる構成を想定しています。
9	仕様書	5業務内容 (2) 講座検索システム等の構築 ①利用者側システム 「地図等を用いたエリア検索（「出張まなび講座」においては訪問範囲等による検索）機能」とあるが、現状の講座メニューは「県内全域」「要相談」が結構多く地図からの絞り込みの効果が薄く思われる。 エリア検索において、このぐらいの範囲指定ができれば便利という想定はあるか。	エリア検索の具体的な区分や方法については指定していません。利用者が講座を検索しやすくなるよう、講座の特性や登録データの内容を踏まえた検索方法を提案してください。なお、「出張まなび講座」については、訪問可能範囲等の条件により講座を絞り込める機能を想定しています。